BCN-1000U

取扱説明書

白：BCN-1000U-W
黒：BCN-1000U-B

BUSICOM

BCNU-201111-004

目次

コード別初期設定一覧・・・・・・・ 2
パラメーター設定方法・・・・・・・・ 3
設定手順・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
設定がおかしくなった時・・・・・・・ 6
1.バーコードリーダー初期設定
1.2 デフォルト設定・・・・・・・・・・・ 8
1.3 インタフェース設定・・・・・・・・ 8
1.4 キーボード言語設定・・・・・・ 9
2.バーコードリーダー機能設定
2.1 キーボードキャラクタテーブルタイプ選択 10
2.2Caps Lock 設定・・・・・・・・・ 10
2.3 ブザー音設定・・・・・・・・・・・ 11
2.4 数字キーポジション・・・・・・・ 11
2.5 コード ID 設定・・・・・・・・・・・ 11
3.バーコードリーダー機能設定
3.1Baud Rate（通信速度）・・・・ 13
3.2Data Parity（パリティ長）・・・・ 13
3.3 Data Bits（データ長）・・・・・ 14
3.4 フローコントロール・・・・・・・・・ 14
3.5 ACK/NAK・・・・・・・・・・・・・ 15
3.6 STX/ETX・・・・・・・・・・・・・ 15
4. 読取設定
4.1 読取設定・・・・・・・・・・・・・ 16
4.2 読取回数設定・・・・・・・・・・ 16
4.3 終端データ・・・・・・・・・・・・・ 17
5. プリフィックス・サフィックス設定
5.1 プリフィックス設定・・・・・・・・ 18
5.2 サフィックス設定・・・・・・・・・・ 18
6. 桁数転送設定
6. 1 桁数転送設定・・・・・ 19
6. 2 コード別桁数転送設定 19
7. Interleave 25
7.1 読取設定・・・・・・・・・・・・・ 23
7.2 チェックサム検査・転送設定 23
7.3 読取桁数設定・・・・・・・・・・ 24
7.4 コードID 設定・・・・・・・・・・・・ 24
8. Standard / Full ASCII Code 39
8.1 読取設定 ・・・・・・・・・・・・ 25
8.2 フォーマット設定 ・・・・・・・・・ 25
8.3 チェックサム検査・転送設定 25
8.4 ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟｷｬﾗｸﾀ転送設定・・・ 26
8.5 読取桁数設定・・・・・・・・・・ 26
8.6 コードID 設定・・・・・・・・・・・・ 26
9. CODE 128
9.1 読取設定・・・・・・・・・・・・・ 27
9.2 読取桁数設定・・・・・・・・・・ 27
9.3 コード ID 設定・・・・・・・・・・・ 27
9.4 CODE128 A・・・・・・・・・・・・・ 28
9.5 CODE128 B・・・・・・・・・・・・・ 28
9.6 CODE128 C・・・・・・・・・・・・・ 28
10. EAN 128
10.1 読取設定・・・・・・・・・・・・・ 29
10.2 AIM ID 設定・・・・・・・・・・・・ 29
10.3 フィールドセパレータ設定・・ 29
10.4 コード ID 設定・・・・・・・・・・・・ 29
10.5 EAN128 A・・・・・・・・・・・・・ 30
10.6 EAN128 B・・・・・・・・・・・・・ 30
10.7 EAN128 C・・・・・・・・・・・・・ 30
11 CODABAR(NW7)
11.1 読取設定・・・・・・・・・・・・・ 31
11.2 スタート・ストップコード転送設定 31
11.3 チェックサム検査・転送設定 31
11.4 読取桁数設定・・・・・・・・・・ 32
11.5 コード ID 設定・・・・・・・・・・・ 32
12. Italy Pharmacode (CODE32)
12.1 読取設定・・・・・・・・・・・・・ 33
12.2 アルファベット転送設定・・・ 33
12.3 チェックサム転送設定・・・・ 33
12.4 コード ID 設定・・・・・・・・・・・・ 33
13. CODE93
13.1 読取設定 ・・・・・・・・・・・・ 34
13.2 読取桁数設定・・・・・・・・・・ 34
13.3 コード ID 設定・・・・・・・・・・・・ 34
14. CHINA POSTAL CODE
14.1 読取設定・・・・・・・・・・・・・ 35
14.2 チェックサム検査・転送設定 35
14.3 読取桁数設定・・・・・・・・・・ 36
14.4 コード ID 設定・・・・・・・・・・・・ 36
15. Industrial25
15.1 読取設定・・・・・・・・・・・・・ 37
15.2 チェックサム検査・転送設定 37
15.3 読取桁数設定・・・・・・・・・・ 38
15.4 コード ID 設定・・・・・・・・・・・・ 38
16. Matrix25
16.1 読取設定・・・・・・・・・・・・・ 39
16.2 チェックサム検査・転送設定 39
16.3 読取桁数設定・・・・・・・・・・ 40
16.4 コード ID 設定・・・・・・・・・・ 40
17. UPC-A
17.1 読取設定 ・・・・・・・・・・・・ 41
17.2 ゼロサプレス・・・・・・・・・・・・ 41
17.3 チェックサム転送設定 ・・・・ 41
17.4 Addon2・・・・・・・・・・・・・・・ 41
17.5 Addon5 ・・・・・・・・・・・・・ 42
17.6 EAN13 変換 ・・・・・・・・・・ 42
17.4 コード ID 設定・・・・・・・・・・・・ 42
18. UPC-E
18.1 読取設定・・・・ 43
18.2 ゼロサプレス・・・ 43
18.3 チェックサム転送設定 ・ 43
18.4 Addon2・・・・・・・・・ 43
18.5 Addon5 ・・・・・・・・・ 44
18.6 UPCA 変換設定・・ 44
18.7 コード ID 設定・・・・ 44
19. EAN13
19.1 読取設定 ・・・・・ 45
19.2 ゼロサプレス・・・・・ 45
19.3 チェックサム転送設定・ 45
19.4 Addon2 ・・・・・・・・・ 45
19.5 Addon5 ・・・・・・・・・ 46
19.6 ISBN 変換設定・・・ 46
19.7 ISSN 変換設定・・・ 46
19.8 コード ID 設定・・・・・ 46
20. EAN8
20.1 読取設定・・・・・・・ 47
20.2 ゼロサプレス・・・・・ 47
20.3 チェックサム転送設定・ 47
20.4 Addon2・・・・・・・・・ 47
20.5 Addon5 ・・・・・・・・・ 48
20.6 コード ID 設定・・・・ 48
21. GS1 Data-Bar(RSS)-14
21.1 読取設定・・・・・・・ 49
21.2 コード ID 設定・・・・・ 49
21.3 プレフィックス転送設定・ 49
21.4 チェックサム転送設定・ 49
22. GS1 Data-Bar(RSS)-Limited
22.1 読取設定・・・・・・・ 50
22.2 コード ID 設定・・・・ 50
22.3 プレフィックス転送設定・ 50
22.4 チェックサム転送設定・・ 50
23. GS1 Data-Bar(RSS)-Expanded
23.1 読取設定・・・・・・・ 51
23.2 コード ID 設定・・・・ 51
23.3 読取桁数設定・・・ 51
24. Addon 設定とﾉｰﾏﾙｺｰﾄﾞの読込有効の同時設定 52
付録ﾃﾞｼﾏﾙｺｰﾄﾞﾃｰﾌﾞﾙ 53
ASCII コード一覧・・・ 54
ファンクションコード一覧・・ 61
キャラクタテーブル一覧・・ 64

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

注意事項

・光源を目に当てたり見つめたりしないでください。
・幼児の手の届かない場所でご利用ください。
・バーコードの設定以外で使用しないでください。
・弊社の許可なく、改造・分解・修理を行わないでください。
・医療機器・原子力設備など人命に関わる機器として使用しないでください。
・日本語取扱説明書に記載のない環境で使用しないでください。

安全に正しくご使用いただくために

・ケーブルの着脱時は、必ず本機に接続している機器の電源を切ってください。
・本機を分解改造しないでください。
・ケーブル類はできるだけ高圧線や動力源から離してご使用ください。ノイズや故障等の原因になります。
・ケーブルを持って、持ち運ばないようにしてください。なお、保証期間中であっても、初期不良以外ケーブルは全て有償扱いとなります。
・本機の受光部に、水・油・ホコリなどを付着させないでください。
・本機は精密機械ですので、落下させた場合破損する恐れがあります。持ち運びや設定の際はご注意ください。

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

コードタイプ別 初 期 設 定 一 覧 (ビジコム出荷時の設定)

	読取	読取桁数		コード ID	
		最少	最大	Default ID	AIM ID
Interleave 25	有効	10	82	I Z	]I0
Code 39	有効	01	82	C M Y	]A0
Full ASCII Code 39	有効	01	82	O	]A0
Code 128	有効	01	82	K	]C0
EAN 128	有効	-	-	W	]C1
Codabar(NW7)	有効	01	82	N X	]F0
Italy Pharmacode(CODE32)	無効	-	-	P	]X0
Code 93	無効	06	82	L	]G0
China Postal Code	無効	11	82	D	]X0
Industrial 25	無効	10	82	H	]S0
Matrix 25	無効	10	82	U	]X0
UPCA	有効	-	-	A	]E0
UPCE	有効	-	-	C E	]E0
EAN13	有効	-	-	A F	]E0
EAN8	有効	-	-	B FF	]E4
DataBar(RSS)-14	無効	-	-	R	]e0
DataBar(RSS)-Limited	無効	-	-	S	]e0
DataBar(RSS)-Expanded	無効	1	74	T	]e0

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

パラメータ設定方法

例:P.18「プリフィックス」設定方法

1. ページ左上の「設定開始」をスキャンします。

-ISET.

2. ページ左の「設定コード」をスキャンします。

0203

3. 設定が無効になっている場合、ページ右の「読取設定」の「有効」をスキャンします。

00

4. プリフィックスを設定するので、「プリフィックスコード設定」をスキャンします。

04

5. P.54～の ASCII コード一覧から設定したい値をスキャンします。

A　*B*　*C*

※ABC と入力したい場合の設定例です。

6. 「設定終了」をスキャンします。

-EXIT.

7. 「設定保存」をスキャンして設定を終了します。

-DONE.

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

パラメータ設定方法

例:P.27　CODE 128「最小読取桁数」設定方法

1. ページ左上の「設定開始」をスキャンします。

-ISET.

2. ページ左の「設定コード」をスキャンします。

0405

3. 設定が無効になっている場合、ページ右の「読取設定」の「有効」をスキャンします。

01

4. 読取桁数設定の最小値を設定するので「Min Length (01)/【01】」をスキャンします。

02

5. P.53 のデシマルコード　テーブルから設定したい数値をスキャンします。

0

2

（桁数 2 と設定したい場合です。　それ以外の桁数は

対応するコードをスキャンしてください。）

6. 「設定終了」をスキャンします。

-EXIT.

7. 「設定保存」をスキャンして設定を終了します。

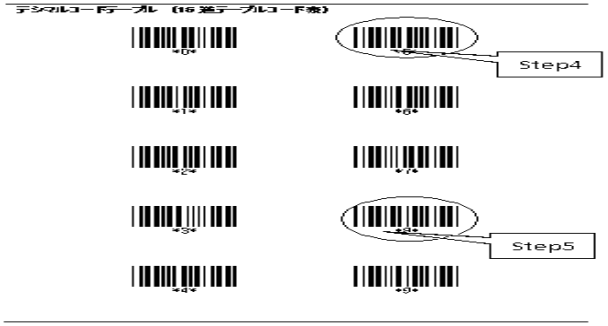
-DONE.

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

設定手順　　ステップ1からステップ7のバーコードをスキャンして設定します。



ステップ 1 :【設定開始】

ステップ 2 :【設定コード】

ステップ 3 :【オプションコード】

ステップ 4 :【デシマルコード】

ステップ 5 :【デシマルコード】

ステップ 6 :【設定終了】

ステップ 7 :【設定保存】

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

〇設定がおかしくなった時（ビジコム出荷時の設定にもどす）

何らかの事情で設定がおかしくなった際に、出荷時の設定にもどしたい場合は

下記のバーコードを上から順番に読み込んでください。

※お客様の運用方法により特殊な設定を行っている場合には､後頁の各設定のバーコードにて個別に設定を行ってください。

1. 設定開始

-ISET.

2. デフォルト設定

0100　→　*00*
デフォルト設定

3. 設定開始

-ISET.

4. キーボード言語設定

0102　→　*06*
PCAT （Japanese）

5. Full ASCII Code 39(フォーマット設定)

0400　→　*03*
Standard

6. UPC-A(EAN13 変換)

0504　→　*14*
EAN13 変換有効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

7. CODABAR(NW7)読取有効設定

0402 → *01*
有効

8. スタートストップコード転送設定

0402 → *03*
無効

9. 読取桁数設定

0402 → *09*
Min Length (01)/【10】

10. デシマルコード

0 → *1*

11. 設定終了

-EXIT. → *-DONE.*

以上で出荷時の設定にもどります。

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.1 バーコードリーダー初期設定

1.1 デフォルト設定

0100

00
デフォルト設定

01
ファームウェアバージョン確認

1.2 インターフェース設定

デフォルト:【PC AT】

0101

00
PC AT

01
RS232C

02
Keybord

03
HID USB

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

1.3 キーボード言語設定

本製品は、日本語【PCAT (Japanese)】の設定を行い出荷しております。

0102

デフォルト:【PCAT(US)】

00
ALT ｷｰﾓｰﾄﾞ

01
PCAT(US)

02
PCAT (French)

03
PCAT (German)

04
PCAT (Italy)

05
PCAT (Swiss)

06
PCAT (Japanese)

07
PCAT (UK)

08
PCAT (Spanish)

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.2 バーコードリーダー機能設定

2.1Caps Lock 設定

読み込んだバーコードの全ての文字について、指定された大文字・小文字に変換して通知する機能指定です。

(設定例)

設定		結果	
リーダ設定	キーボード状態	バーコードデータ	出力
CapsLock を使用しない	Caps Lock_OF	AaBbCc	AaBbCc
	Caps Lock_ON		aAbBcC
CapsLock を使用する	Caps Lock_OFF		aAbBcC
	Caps Lock_ON		AaBbCc
CapsLock 自動	Caps Lock_OFF		AaBbCc
	Caps Lck_ON		AaBbCc

0106

デフォルト:【自動】

00
自動

01
Caps Lock OFF

02
Caps Lock ON

03
小文字

04
大文字

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

2.2 ブザー音設定

読取確認音の大きさを設定できます。

0204

デフォルト:【2.4KHz】

00
ブザー音無

01
4.3KHz

02
2.4KHz

03
1.5KHz

2.3 数字キーポジション

0209

デフォルト:【英数字キー】

00
英数字キー

01
数字キー

2.4 コード ID 設定

読み込んだバーコードの種類を転送したい場合に設定します。

0202

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。AIM ID 設定を有効にし、バーコードを読み込むと、左記の表のとおりコード ID が転送データのヘッダーに付加されます。

コード ID はお好みに選択することも可能です。その設定については、それぞれのバーコードの種類のコード ID 設定を参照ください。また、その設定の際はユーザ ID 選択を有効にしてください。

デフォルト:【無効】

00
無効

01
SET1(C/A/B/I/M/N)

02
SET2(E/F/FF/I/M/N)

03
SET3(E/A/B/I/C/N)

04
SET4(C/A/B/Z/Y/X)

05
AIM ID 設定

06
ユーザ ID 選択

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

	SET1	SET2	SET3	SET4	AIM ID
Interleave 25	I	I	I	Z	]I0
Code 39	M	M	C	Y	]A0
Full ASCII Code 39	O	O	O	O	]A0
Code 128	K	K	K	K	]C0
EAN 128	W	W	W	W	]C1
Codabar(NW7)	N	N	N	X	]F0
Italy Pharmacode(CODE32)	P	P	P	P	]X0
Code 93	L	L	L	L	]G0
China Postal Code	D	D	D	D	]X0
Industrial 25	H	H	H	H	]S0
Matrix 25	U	U	U	U	]X0
UPCA	A	A	A	A	]E0
UPCE	C	E	E	C	]E0
EAN13	A	F	A	A	]E0
EAN8	B	FF	B	B	]E4
DataBar(RSS)-14	R	R	R	R	]e0
DataBar(RSS)-Limited	S	S	S	S	]e0
DataBar(RSS)-Expanded	T	T	T	T	]e0

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.3 バーコードリーダー機能設定

3.1 Baud Rate(通信速度)

デフォルト:【9600bps】

0300

00
1200bps

01
2400bps

02
4800bps

03
9600bps

04
19200bps

05
38400bps

06
57600bps

07
115200bps

3.2 Data Parity(パリティ長)

デフォルト:【No Parity】

0301

00
Even(偶数)

01
Odd(奇数)

02
Mark

03
Space

04
No Parity

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

3.3 Data Bits(データ長)

デフォルト:【8Bits】

0302

00
7Bits

01
8Bits

3.4 フローコントロール

データレディ：スキャナーはデコードが成功したことを示すために送信要求信号(RTS)を出し、送信可信号(CTS)を受け取ると、データを送信します。
スキャナーレディ：スキャナーの電源がついているとき、スキャナーは送信要求信号(RTS)を出し、送信可信号(CTS)を受け取るとデータを送信します。

デフォルト:【無効】

0304

00
無効

01
データレディ

02
スキャナレディ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

3.5 ACK/NAK

ACK/NAK プロトコルは、ソフトウェアプロトコルの一つで、ホストコンピュータとの受信結果をスキャナーがホストコンピュータにフィードバックするものです。これが設定されていると、スキャナーがコマンドを正しく受信、実行しているときには、スキャナーはホストコンピュータに ACK(06H)という信号を出力します。スキャナーがコマンドを正しく受信できなかったときは、NAK(15H)という信号を出力します。また、ACK/NAK プロトコルは、ホストコンピュータがコマンドを出す速度をスキャナーで処理できる範囲に抑えることもできます。

0305

デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

3.6 STX/ETX

ASCII コードで、テキストの初め(STX)02H と終わり(ETX)03H で、通常データ送信を圧縮できます。

0307

デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.4 読取設定

バーコードリーダの読込をどのような状態でするかを設定します。

0205

デフォルト:【ﾄﾘｶﾞ ON/OFF】

00
ﾃｽﾄﾓｰﾄﾞ

01
ﾄﾘｶﾞ ON/OFF

02
連続読取(LED 点滅)

03
トリガスイッチにて動作

05
トリガ無し(常時点灯)

06
読取後　消灯

4.2 読取回数設定

リピートデーコード回数です。バーコードをデコードする際に、設定された回数に達しないと出力されません。誤読しやすいバーコードを読取る際に、よく使われる機能となります。

0201

デフォルト:【0 回】

00
0 回

01
1 回

02
2 回

03
3 回

04
4 回

05
5 回

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

4.3 終端データ

バーコードデータの最後に付加するコードを選択します。

0200

デフォルト:【CR+LF(Enter)】

00
CR

01
CR+LF(Enter)

02
LF

03
Disable

※
CR-カーソルが先頭に行くこと
LF-1行下に行くこと
Disable-設定しない

（コード対応表）

コード	16 進データ
CR コード	0DH
LF コード	0AH
CR＋LF コード	0DH＋0AH

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.5 プリフィックス・サフィックス設定

5.1 プリフィックスの設定（ヘッダーの付加）

0203

デフォルト:【無効】

5.1.1 ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽ設定
バーコードデータのヘッダーに文字を付加させる設定

00
有効

01
無効

5.1.2 ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽｺｰﾄﾞ設定
読み込んだバーコードデータのヘッダーとして、文字列を付加させたい場合に設定してください。（最大 8 桁まで設定できます。）

04
ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽｺｰﾄﾞ設定
（最大 8 桁）

05
ｸﾘｱ設定

5.2 サフィックスの設定(フッターの付加)

0203

デフォルト:【無効】

5.2.1 ｻﾌｨｯｸｽ設定
バーコードデータのフッターに文字を付加させる設定

02
有効

03
無効

5.2.2 ｻﾌｨｯｸｽｺｰﾄﾞ設定
読み込んだバーコードデータのフッターとして、文字列を付加させたい場合に設定してください。（最大 8 桁まで設定できます。）

06
ｻﾌｨｯｸｽｺｰﾄﾞ設定
（最大 8 桁）

07
ｸﾘｱ設定

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.6 桁数転送設定

6.1 桁数転送設定

読み込んだバーコードの長さを転送したい場合に設定してください。
バーコードの長さは、2 桁の数字にて転送されます。

0208

デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

6.2 コード別桁数転送設定

0210

6.2.1 全コード桁数転送設定

00
有効

01
無効

6.2.2 CODE39 桁数転送設定

02
有効

03
無効

6.2.3 Codabar(NW7) 桁数転送設定

04
有効

05
無効

6.2.4 Interleave 25 桁数転送設定

06
有効

07
無効

6.2.5 China Postal Code 桁数転送設定

08
有効

09
無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0210

6.2.6 Industrial 25 桁数転送設定

10
有効

11
無効

6.2.7 Matriax 25 桁数転送設定

12
有効

13
無効

6.2.8 UPCA 桁数転送設定

14
有効

15
無効

6.2.9 EAN13(JAN13) 桁数転送設定

16
有効

17
無効

6.2.10 EAN8(JAN8) 桁数転送設定

18
有効

19
無効

6.2.11 UPCE 桁数転送設定

20
有効

21
無効

6.2.12 Code 128 桁数転送設定

22
有効

23
無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0210

6.2.13 Code 93　桁数転送設定

24
有効

25
無効

6.2.14 Full ASCII Code 39　桁数転送設定

26
有効

27
無効

6.2.15 Italy Pharmacode　桁数転送設定

28
有効

29
無効

6.2.16 EAN 128　桁数転送設定

30
有効

31
無効

6.2.17 GS1 DataBar(RSS)-14　桁数転送設定

32
有効

33
無効

6.2.18 GS1 DataBar(RSS)-Limited　桁数転送設定

34
有効

35
無効

6.2.19 GS1 DataBar(RSS)-Expanded　桁数転送設定

36
有効

37
無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0210

6.2.20 PDF417　桁数転送設定

38
有効

39
無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.7 Interleaved 2of5

0401

7.1 読取設定

デフォルト:【有効】

00
無効

01
有効

7.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。このバーコードは性質上誤読が多いので、チェックサムをつけての運用をお勧めします。

02
ﾁｪｯｸｻﾑ検査 ： 有効
ﾁｪｯｸｻﾑ転送 ： 有効

03
ﾁｪｯｸｻﾑ検査 ： 有効
ﾁｪｯｸｻﾑ転送 ： 無効

04
ﾁｪｯｸｻﾑ検査 ： 無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0401

7.3 読取桁数設定

1 から 48 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さと決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。

08
Min Length (01)/【10】

09
Max Length (82)/【82】

7.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

10
コード ID 設定

11
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.8 Standard / Full ASCII Code 39

0400

8.1 読取設定
デフォルト:【有効】

00
無効

01
有効

8.2 フォーマット設定
デフォルト:【Full ASCII】

FullASCⅡCODE-39 は、CODE-39 強化版です。
全ての ASCⅡコードを表す 128 キャラクタのデータです。
本製品は、【Standard】の設定を行い出荷しております。

02
Full ASCII

03
Standard

8.3 チェックサム検査及び転送設定
デフォルト:【無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。

04
ﾁｪｯｸｻﾑ検査 ： 有効
ﾁｪｯｸｻﾑ転送 ： 有効

05
ﾁｪｯｸｻﾑ検査 ： 有効
ﾁｪｯｸｻﾑ転送 ： 無効

06
ﾁｪｯｸｻﾑ検査 ： 無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0400

8.4 ｽﾀｰﾄ･ｽﾄｯﾌﾟｷｬﾗｸﾀｰ転送設定
デフォルト:【無効】

CODE-39 のスタートコードとストップコードである、“*“転送を指定します。
有効を設定した場合には、バーコードデータは前後に“*”が付加され、はさまれた形で転送されます。

07
有効

08
無効

8.5 読取桁数設定

1 から 48 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さと決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。

09
Min Length (01)/【01】

10
Max Length (82)/【82】

8.6 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASCⅡコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

11
コード ID 設定

12
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.9 CODE 128

0405

9.1 読取設定

デフォルト:【有効】

00
無効

01
有効

9.2 読取桁数設定

1 から 48 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さと決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。

02
Min Length (01)/【01】

03
Max Length (82)/【82】

9.3 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

04
コード ID 設定

05
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0405

9.4 CODE128 A

デフォルト:【有効】

Code128 で文字セット[CODE-A]を使用する場合に設定をします。
[CODE-A] : 数字・英字(大文字のみ)と制御文字(DEL など)のセット

06
無効

07
有効

9.5 CODE128 B

デフォルト:【有効】

Code128 で文字セット[CODE-B]を使用する場合に設定をします。
[CODE-B] : ASCII 文字を表すセット

08
無効

09
有効

9.6 CODE128 C

デフォルト:【有効】

Code128 で文字セット[CODE-C]を使用する場合に設定をします。
[CODE-C] : 数字のみを表すセット

10
無効

11
有効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.10 EAN 128

0503

10.1 読取設定
デフォルト:【有効】

00
無効

01
有効

10.2 フィールドセパレータ設定
デフォルト:【無効】

04
ﾌｨｰﾙﾄﾞ セパレータ設定

05
有効

06
無効

10.3 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱ コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

07
コード ID 設定

08
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0503

10.4 EAN128 A
デフォルト:【有効】

EAN128 で文字セット[CODE-A]を使用する場合に設定をします。
[CODE-A] : 数字・英字(大文字のみ)と制御文字(DEL など)のセット

09
無効

10
有効

10.5 EAN128 B
デフォルト:【有効】

EAN128 で文字セット[CODE-B]を使用する場合に設定をします。
[CODE-B] : ASCII 文字を表すセット

11
無効

12
有効

10.6 EAN128 C
デフォルト:【有効】

EAN128 で文字セット[CODE-C]を使用する場合に設定をします。
[CODE-C] : 数字のみを表すセット

13
無効

14
有効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.11 CODABAR(NW7)

0402

11.1 読取設定
デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

11.2 スタート・ストップコード転送設定
デフォルト:【無効】

スタートストップコードを、転送する場合に指定します。

02
有効

03
無効

11.3 チェックサム検査及び転送設定
デフォルト:【ﾁｪｯｸｻﾑ検査 : 無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。

04
ﾁｪｯｸｻﾑ検査 : 有効
ﾁｪｯｸｻﾑ転送 : 有効

05
ﾁｪｯｸｻﾑ検査 : 有効
ﾁｪｯｸｻﾑ転送 : 無効

06
ﾁｪｯｸｻﾑ検査 : 無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0402

11.4 読取桁数設定
デフォルト:【1 桁以上に設定】

1 から 48 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さと決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。

09
Min Length (01)/【01】

10
Max Length (82)/【82】

11.5 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASCⅡコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

11
コード ID 設定

12
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.12 Italy Pharmacode (CODE32)

0404

12.1 読取設定
デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

12.2 アルファベット転送設定
デフォルト:【有効】

02
有効

03
無効

12.3 チェックサム転送設定
デフォルト:【有効】

最終の文字がチェックサムとなります。
この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。

04
有効

05
無効

12.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

06
コード ID 設定

07
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.13 CODE93

0502

13.1 読取設定
デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

13.2 読取桁数設定

1 から 48 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さと決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。

02
Min Length (01)/【06】

03
Max Length (82)/【82】

13.3 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

04
コード ID 設定

05
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.14 CHINA POSTAL CODE

0403

14.1 読取設定

デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

14.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査 : 無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。

02
チェックサム検査 : 有効
チェックサム転送 : 有効

03
チェックサム検査 : 有効
チェックサム転送 : 無効

04
チェックサム検査 : 無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0403

14.3 読取桁数設定

1 から 48 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さと決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。

05
Min Length (01)/【11】

06
Max Length (82)/【82】

14.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

07
コード ID 設定

08
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.15 Industrial 2of5

0500

15.1 読取設定

デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

15.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査 : 無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。

02
チェックサム検査 : 有効
チェックサム転送 : 有効

03
チェックサム検査 : 有効
チェックサム転送 : 無効

04
チェックサム検査 : 無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0500

15.3 読取桁数設定

1 から 48 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さと決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。

05
Min Length (01)/【10】

06
Max Length (82)/【82】

15.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

07
コード ID 設定

08
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.16 Matrix 2of5

0501

16.1 読取設定

デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

16.2 チェックサム検査及び転送設定

デフォルト:【チェックサム検査 : 無効】

チェックサムとは、データの信頼性を確認するためのチェック方法です。送信データの最終データにあらかじめ付されている合計値と受信側で計算した合計値を比較することで誤りを検出します。

02
チェックサム検査 : 有効
チェックサム転送 : 有効

03
チェックサム検査 : 有効
チェックサム転送 : 無効

04
チェックサム検査 : 無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0501

16.3 読取桁数設定

1 から 48 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さと決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。

05
Min Length (01)/【10】

06
Max Length (82)/【82】

16.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱ コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

07
コード ID 設定

08
設定クリア

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.17 UPC-A

0504

17.1 読取設定　デフォルト:【有効】

00
無効

01
有効

17.2 ゼロサプレス　デフォルト:【有効】

この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の 0 は切り捨てられます。この機能は WPC 読み取りのときのみ使用されます.

02
有効

03
無効

17.3 チェックサム転送設定　デフォルト:【有効】

このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですが、これを転送したくない場合には、無効を設定してください。

04
有効

05
無効

17.4 Addon2　デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の2文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込めません。この Addon 設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.52 を参照下さい。

06
有効

07
無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0504

17.5 Addon5　デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の5文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込みません。この Addon 設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.52 を参照下さい。

08
Addon5 有効

09
Addon5 無効

17.6 EAN13 変換　デフォルト:【有効】

14
有効

15
無効

17.4 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱ コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

16
コード ID 設定

17
設定ｸﾘｱ

◎JAN コードで頭に 0 を付けたい場合 （例 000012345670→0000012345670）
設定開始→[※0504※]→17.6 EAN13 変換 有効[※14※]→設定終了→設定保存

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.18 UPC-E

0505

18.1 読取設定　デフォルト:【有効】

00
無効

01
有効

18.2 ゼロサプレス　デフォルト:【有効】

この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の 0 は切り捨てられます。この機能は WPC 読み取りのときのみ使用されます.

02
有効

03
無効

18.3 チェックサム転送設定　デフォルト:【有効】

このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですが、これを転送したくない場合には、無効を設定してください。

04
有効

05
無効

18.4 Addon2　デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の2文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルバーコードは読み込めません。この Addon 設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.52 を参照下さい。

06
有効

07
無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0505

18.5 Addon5　デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の5文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込めません。この Addon 設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.52 を参照下さい。

08
有効

09
無効

18.6 UPCA 変換設定　デフォルト:【無効】

UPCA への変換設定を行います。

14
有効

15
無効

18.7 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

20
コード ID 設定

21
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.19 EAN13

0600

19.1 読取設定 デフォルト:【有効】

00
無効

01
有効

19.2 ゼロサプレス デフォルト:【有効】

この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の 0 は切り捨てられます。この機能は WPC 読み取りのときのみ使用されます.

02
有効

03
無効

19.3 チェックサム転送設定 デフォルト:【有効】

このコードでは、チェックサムが標準で含まれています。
チェックサムはバーコードの最終の 1 文字ですが、これを転送したくない場合には、無効を設定してください。このチェックサムは、モジュラス 10 ウエイト 3 にて算出されています。

04
有効

05
無効

19.4 Addon2 デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の2文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込めません。この Addon 設定と、ノーマルのバーコードの読込有効設定を同時に利用したい場合は、P.52 を参照下さい。

06
有効

07
無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0600

19.5 Addon5 デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の5文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込めません。この Addon 設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.52 を参照下さい。

08
有効

09
無効

19.6 ISBN 変換設定 デフォルト:【無効】

ISBN(国際標準図書番号)は、バーコードブックランドラベルです。
ISBN は 978 がついた 10 桁の数字です。

14
有効

15
無効

19.7 ISSN 変換設定 デフォルト:【無効】

ISSN(国際標準逐次刊行物番号)は、バーコードブックランドラベルです。ISSN は EAN-13 のコード体系の 977 がついた 8 桁の数字です。

16
有効

17
無効

19.8 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱ コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

18
コード ID 設定

19
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.20 EAN8

0601

20.1 読取設定　デフォルト:【有効】

00
無効

01
有効

20.2 ゼロサプレス　デフォルト:【有効】

この機能が動いているとき、バーコードのデータキャラクタの先頭の 0 は切り捨てられます。この機能は WPC 読み取りのときのみ使用されます.

02
有効

03
無効

20.3 チェックサム転送設定　デフォルト:【有効】

最終の文字がチェックサムとなります。
この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。

04
有効

05
無効

20.4 Addon2　デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の2文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込めません。この Addon 設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.52 を参照下さい。

06
有効

07
無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

0601

20.5 Addon5　デフォルト:【無効】

この設定は、WPCコードを読み込んだ後に、続く追加文字(add-on code)の5文字を補う設定です。この設定下では、追加文字無しのノーマルのバーコードは読み込めません。この Addon 設定と、ノーマルのバーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、P.52 を参照下さい。

08
有効

09
無効

20.6 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱ コード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

14
コード ID 設定

15
設定ｸﾘｱ

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.21 GS1 DataBar(RSS)-14

0602

21.1 読取設定
デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

21.2 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID を選択できます。数字・アルファベット大文字・記号、デジマルコード、ASC Ⅱコード一覧から選択できます。

02
コード ID 設定

03
設定ｸﾘｱ

21.3 プレフィックス転送設定
デフォルト:【無効】

04
有効

05
無効

21.4 チェックサム転送設定
デフォルト:【無効】

最終の文字がチェックサムとなります。
この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。

06
有効

07
無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.22 GS1 DataBar(RSS)-Limited

0603

22.1 読取設定
デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

22.2 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

02
コード ID 設定

03
設定ｸﾘｱ

22.3 プレフィックス転送設定
デフォルト:【無効】

04
有効

05
無効

22.4 チェックサム転送設定
デフォルト:【無効】

最終の文字がチェックサムとなります。
この文字を転送したい場合には、有効を設定してください。

06
有効

07
無効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.23　GS1 DataBar(RSS)-Expanded

0604

23.1 読取設定　　デフォルト:【無効】

00
無効

01
有効

23.2 コード ID 設定

コード ID は、スキャンするバーコードの種類を識別するコードです。そのコード ID をお好みに選択できます。数字・アルファベット大文字・記号がデシマルコード、ASC Ⅱコード一覧から選択できます。またその際は、P.11 のユーザーID 選択を有効にして下さい。

02
コード ID 設定

03
設定ｸﾘｱ

23.3 読取桁数設定

1 から 48 までの最小限と最大限の長さは、データエントリーを制限するように設定できます。長さは、送られてきたバーコードデータの実際の長さと決められています。この制限を越える長さのラベルは、拒否されます。最小限の長さの設定が最大限の長さの設定を超えないようにしてください。全てのラベルの読み取りがされません。特に、固定長バーコードをデコードさせるために、最大限と最小限の読み取りの長さに同じ数値を設定できます。WPC(UPC、EAN、JAN)のような固定長ラベルのバーコードでは、数値の設定は影響がありません。

04
Min Length (01)/【01】

05
Max Length (74)/【74】

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

Chap.24　Addon 設定とノーマルバーコードの読込有効の同時設定

24.1 UPC-A Addon 同時設定　　デフォルト:【無効】

Addon 設定と、ノーマルの UPC-A バーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、この設定を有効にして下さい。その場合は、P.41, 42 の Addon 設定も有効にして下さい。

0504

24.2 UPC-E Addon 同時設定　　デフォルト:【無効】

Addon 設定と、ノーマルの UPC-E バーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、この設定を有効にして下さい。その場合は、P.43, 44 の Addon 設定も有効にして下さい。

0505

24.3 EAN13 Addon 同時設定　　デフォルト:【無効】

Addon 設定と、ノーマルの EAN13 バーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、この設定を有効にして下さい。その場合は、P.45, 46 の Addon 設定も有効にして下さい。

0600

24.4 EAN8 Addon 同時設定　　デフォルト:【無効】

Addon 設定と、追加文字無し EAN8 バーコードの読込有効を同時に利用したい場合は、この設定を有効にして下さい。その場合は、P.47, 48 の Addon 設定も有効にして下さい。

0601

10
有効

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

デシマルコードテーブル （16 進テーブルコード表）

0

5

1

6

2

7

3

8

4

9

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(1)

%U
NUL

$A
SOH

$B
STX

$C
ETX

$D
EOT

$E
ENQ

$F
ACK

$G
BEL

$H
BS

$I
HT

$J
LF

$K
VT

$L
FF

$M
CR

$N
SO

$O
SI

$P
DLE

$Q
DC1

$R
DC2

$S
DC3

$T
DC4

-DONE.
設定保存

設定開始

設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(2)

NAK

SYN

ETB

CAN

EM

SUB

ESC

FS

GS

RS

US

Space

!

”

#

$

%

&

'

(

)

設定保存

設定開始

設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(3)

*

+

,

-

.

/

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

:

;

<

=

>

設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(4)

%J
?

%V
@

A
A

B
B

C
C

D
D

E
E

F
F

G
G

H
H

I
I

J
J

K
K

L
L

M
M

N
N

O
O

P
P

Q
Q

R
R

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

付録 A: ASCII コード一覧(5)

S
S

T
T

U
U

V
V

W
W

X
X

Y
Y

Z
Z

%K
[

%L
¥

%M
]

%N
^

%O
_

%W
`

+A
a

+B
b

+C
c

+D
d

+E
e

+F
f

-DONE.
設定保存

設定開始

設定終了

付録 A：ASCII コード一覧(6)

g

h

i

j

k

l

m

n

o

p

q

r

s

t

u

v

w

x

y

z

{

設定保存

設定開始

設定終了

付録 A：ASCII コード一覧(7)

|

}

~

DEL

設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

付録 B: ファンクションコード一覧(キーボードインタフェース用)1

F1Z6R800
F1

F1Z6R801
F2

F1Z6R802
F3

F1Z6R803
F4

F1Z6R804
F5

F1Z6R805
F6

F1Z6R806
F7

F1Z6R807
F8

F1Z6R808
F9

F1Z6R809
F10

F1Z6R810
F11

F1Z6R811
F12

F1Z6R812
Home

F1Z6R813
End

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

付録 B: ファンクションコード一覧(キーボードインタフェース用)2

F1Z6R814
Right

F1Z6R815
Left

F1Z6R816
Up

F1Z6R817
Down

F1Z6R818
Page Up

F1Z6R819
Page Down

F1Z6R820
Tab

F1Z6R821
Back Tab

F1Z6R822
Esc

F1Z6R823
Enter

F1Z6R824
Back Space

F1Z6R825
Insert

F1Z6R826
Delete

F1Z6R827
Alt Make

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

付録 B: ファンクションコード一覧(キーボードインタフェース用)3

F1Z6R828
Alt Break

F1Z6R829
Shift Make

F1Z6R830
Shift Break

F1Z6R831
Ctrl Make

F1Z6R832
Ctrl Break

-DONE.
設定保存

-ISET.
設定開始

-EXIT.
設定終了

付録 C: (キーボードインタフェース用)

	0		1		2	3	4	5	6	7
	Type1	Type2	Type1	Type2						
0	^@		^P	F2	SP	0	@	P	`	p
1	^A	Ins	^Q	F3	!	1	A	Q	a	q
2	^B	Del	^R	F4	“	2	B	R	b	r
3	^C	Home	^S	F5	#	3	C	S	c	s
4	^D	End	^T	F6	$	4	D	T	d	t
5	^E	Up	^U	F7	%	5	E	U	e	u
6	^F	Down	^V	F8	&	6	F	V	f	v
7	^G	Left	^W	F9	‘	7	G	W	G	w
8	^H	BS	^X	F10	(	8	H	X	h	x
9	^I	HT	^Y	F11	)	9	I	Y	i	y
A	^J	LF	^Z	F12	*	:	J	Z	j	z
B	^K	Right	^[	Esc	+	;	K	[	k	{
C	^L	PgUp	^¥	Exec	,	<	L	¥	l	|
D	^M	Enter	^]		-	=	M	}	m	}
E	^N	PgDn	^^		.	>	N	^	n	~
F	^O	F1	^_		/	?	O	_	o	DEL

-DONE.
設定保存

設定開始

設定終了

付録 C: キャラクターテーブル一覧(RS232C 用)

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	G	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUM	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|
D	CR	GS	−	=	M	}	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

設定保存

設定開始

設定終了

設定保存

製品保証規定

１．保証内容
取扱説明書・本体送付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ、販売店または弊社サポートまでご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理致します。お送りいただく場合の費用はお客様のご負担、弊社から返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。

２．保証対象
保証の対象となるのは製品の本体部分のみで、消耗品類は保証の対象とはなりません。

３．保証適用外
保証書をご提示いただきましても次の場合は有償修理となります。
１）お買い上げ日から保証期間が経過した場合
２）本保証書の所定事項（お買い上げ年月日、お客様名、ご住所、販売店名など）が未記入の場合、または字句が書き替えられた場合
３）取扱上の不注意、誤用による故障および損傷
４）移動時の落下等による故障および損傷
５）表記の販売店、または弊社以外による修理、改造による故障および損傷
６）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
７）修理ご依頼の際、本保証書のご提示がいただけない場合
８）接続している他の機器に起因して、故障が生じた場合

４．弊社免責
本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について弊社は一切責任を負いません。

５．保証有効範囲
本保証書は日本国内においてのみ有効です。
※本保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。これにより、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※本商品は将来改良のため予告なく変更する場合があります。
※本保証書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。
※本製品および取扱説明書の内容を弊社の許諾なしに複製することはできません。

弊社サポートのご案内

修理品送付先
〒112-0014　東京都文京区関口 1-20-10　住友不動産江戸川橋駅前ビル
株式会社ビジコム　サポート係
営業時間：平日１０：００～１８：００
（土・日・祝および営業時間外のサポートはお受けできません）

TEL： 03-5229-5190
FAX： 03-5229-5199
Web：www.busicom.co.jp
E-Mail：support@busicom.co.jp

保証書

型　番　BCN-1000U

保障期間　お買い上げ日より 1 年間有効です。

お客様
ふりがな
お名前
〒　TEL（　）　－
ご住所

お買い上げ年月日　年　月　日

販売店
住所・店名
TEL（　）　－

ご販売店様へ
１．お客様へ商品をお渡しする際は、必ず販売日をお買い上げ年月日欄に記入し、貴店名／住所・貴店印をご記入ご捺印ください。

２．記載漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられません。

BCN-1000U 取扱説明書

BUSICOM 株式会社ビジコム
〒112-0014 東京都文京区関口1-20-10住友不動産江戸川橋駅前ビル TEL.03-5229-5190